

## Ⅱ. 普及事業

### 1. 出版物など

#### ■特別展図録

特別展「神戸市立博物館所蔵 洋画セレクション」

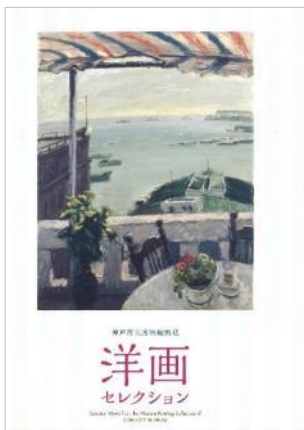
29.5×22.5cm 76頁

夏休み特別企画「浜口陽三と南桂子展—ふしぎな世界への小さな窓—」

21.0×21.0cm 112頁

特別展「没後30年小磯良平展—西洋への憧れと挑戦—」

29.7×21.0cm 176頁

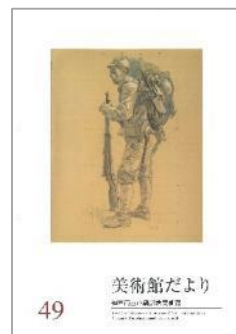


#### ■美術館だより Vol. 49、50

美術館の活動を広報し、美術に関する話題も提供する。

平成30年9月、平成31年3月

A4判8頁



#### ■年報No. 24 (平成29年度)

平成31年3月

A4判 60頁

ホームページ上にて公開



■文化庁助成事業のチラシ

平成30年度文化庁『地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業』

「夏休み企画 ミュージアムプログラム2018」

平成30年7月頃

A5判 4頁

103,000部



「夏休み企画  
ミュージアムプログラム2018」

「みんなの学美場」

平成30年6月頃

A4判 表裏

10,000部



「みんなの学美場」

「RICあそ美ば」

平成30年9月頃

B5判 4頁

15,000部



「RICあそ美ば」

■Webページ

平成14年9月15日開設

当館について、展覧会、利用案内、小磯良平、普及活動、美術館通信、リンク  
展覧会スケジュールにあわせて、データ更新(随時)

<http://www.city.kobe.lg.jp/koisomuseum/>

■出版物の販売状況

過去に開催した特別展図録などを美術館のミュージアムショップで購入できる。また、郵送も取り扱っている。

出版物の名称	刊行年	販売価格
<b>〈小磯良平および美術館関連〉</b>		
小磯記念美術館所蔵作品総目録	1992年	3,300円
小磯記念美術館所蔵作品目録VOL. 2	1997年	1,200円
小磯記念美術館所蔵作品目録VOL. 3	1999年	2,000円
小磯記念美術館所蔵作品目録VOL. 4	2005年	1,200円
小磯記念美術館 研究紀要 第1号 小磯良平の作品〔辻〕, 小磯良平とアングル〔廣田〕, 「洋和服の二人(みなとの祭りの日)」と小磯良平の1930年代の作 品について〔金井〕	1996年	700円
小磯記念美術館 研究紀要 第2号 近代挿絵と小磯良平(戦前篇)〔金井〕, 田村孝之介の1945-64年の画業(一)〔廣田〕, 印象-関口俊吾の主題と色彩表現〔辻〕	1998年	700円
小磯記念美術館 研究紀要 第3号 小磯良平と戦争画-従軍の記録と制作の過程〔廣田〕, 小磯良平に おける群像表現の探求と成果《働く人びと》(1953)に至るまで 〔辻〕	2008年	700円
生誕100年記念特別展 小磯良平の青年時代	2003年	2,000円
開館15周年記念特別展 藤島武二と小磯良平展	2007年	1,800円
小磯良平 聖書のさしえ展	2008年	1,440円
あなたが選ぶ小磯良平作品選	2013年	800円
小磯良平ベストコレクション	2017年	1,000円
没後30年 小磯良平展-西洋への憧れと挑戦-	2018年	2,000円

〈他作家など〉		
特別展	林重義 没後50年展	1994年 2,000円
特別展	田中忠雄 回顧展	1998年 2,000円
企画展	神戸の洋画・戦後の再出発展	1998年 800円
特別展	川西英と神戸の版画展	1999年 1,800円
特別展	川端謹次展	2000年 1,600円
特別展	田村孝之介と神戸	2000年 1,800円
特別展	明治・大正 神戸生まれの芸術家たち展	2001年 1,500円
特別展	岡田謙三展	2004年 1,800円
特別展	没後50年 内田巖展	2004年 2,000円
特別展	受贈記念 石阪春生展	2006年 2,000円
特別展	西村元三朗回顧展	2006年 1,800円
特別展	日本近代洋画への道	2007年 2,000円
特別展	近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展	2008年 2,000円
特別展	小磯良平没後20年記念 子どものいる風景	2008年 1,800円
特別展	中西 勝 展	2009年 1,800円
特別展	没後35年 宮本三郎展	2009年 2,000円
特別展	画家 岸田劉生の軌跡	2010年 2,000円
特別展	古家新とゆかりの画家たち	2010年 1,800円
特別展	没後100年 大下藤次郎展 美しき自然、友人	2011年 1,700円
特別展	昭和モダン 藤島武二と新制作初期会員たち	2011年 1,600円
特別展	マリー・ローランサンとその時代展	2012年 1,900円
特別展	自らを見つめる—画家と自画像	2013年 500円
特別展	関西学院の美術家	2013年 2,000円
特別展	新宮晋 地球の遊び方	2014年 1,500円
特別展	生誕120年 川西英回顧展	2014年 2,000円
美術館再開特別企画	コレクション再発見 小磯とゆかりの画家たち	2015年 700円
特別展	国立美術館巡回展 洋画の大樹が根付くまで	2015年 1,200円
特別展	野田弘志展—凍結する時	2015年 1,500円
特別展	日本近代洋画の巨匠 和田英作展	2016年 1,800円
特別展	パリに生きる パリを描く —M氏秘蔵コレクションによる—	2016年 1,500円
特別展	ユニマツコレクション フランス近代絵画と珠玉のラリック展	2017年 2,000円
特別展	生誕150年記念 藤島武二展	2017年 2,300円
特別展	神戸市立博物館所蔵 洋画セレクション展	2018年 1,000円
夏休み特別企画	浜口陽三と南桂子展—ふしぎな世界への小さな窓—	2018年 1,500円

## 2. 特別展の講演会と関連講座

特別展の際には、外部講師等による講演会と当館学芸員による関連講座を実施した。概要や参加人数はそれぞれの展覧会のページに記載。

## 3. ギャラリーツアー

1年間を通じて、開館中の日曜日の午後2時から、来館者と学芸員が展示室を巡りながら、作品を前にして解説するギャラリーツアー形式を行った。

	特別展ギャラリーツアー	作品選ギャラリーツアー
平成30度	21回	2回



## 4. オリエンテーション

団体やグループでの来館の場合、事前の申し込みによって、学芸員が10～20分程度のオリエンテーションを行っている。場所は美術館2階の絵画学習室あるいはハイビジョンギャラリーを使用する。また、展示室内でのオリエンテーションも適宜実施している。美術館の概要、あるいは展示作品の紹介（特別展を含む）など、内容は希望によって指定することもできる。

	利用団体数	利用人数
平成30年度	31組	延べ690人

## 5. 美術講座

多くの方々により一層美術館に親しんでいただくため、平成9年度より各年度の下半期で6回シリーズとなる美術講座を開催している。「六甲アイランドの美術館を楽しもう」をテーマに、近隣の美術館等のご協力をいただいて開催した。今年度は屋上防水工事のため、8月から4回実施した。

開催日	演題	講師	受講人数
8月24日(金)	「浜口陽三と南桂子の作品世界 —モチーフをめぐる—」	神戸市立小磯記念美術館 学芸員 高橋 佳苗	62人
9月21日(金)	「小磯良平と戦争画 —歴史画としての西洋への挑戦—」	神戸市立小磯記念美術館 学芸係長 廣田 生馬	64人
10月19日(金)	「小磯良平 西洋との接触 —歩いた道をたどる—」	神戸市立小磯記念美術館 学芸員 多田羅珠希	58人
11月16日(金)	「西洋絵画の見方Ⅳ —いよいよ印象派—」	神戸市立小磯記念美術館 館長 岡 泰正	69人

■開催場所：美術館 2F 絵画学習室

延べ 253人

## 6. 連携講座・出前講座等

開催日	演題	講師	会場	参加数(人)
5/13	西洋近代美術の見方—ユニマットコレクションを中心に—	当館館長 岡 泰正	岩手県立美術館	70
5/15	絵画で巡る洋画家たちの神戸	当館学芸員 高橋佳苗	清風公民館	18
5/25	肖像画家としての小磯良平 《恒藤恭氏肖像》を読み解く	当館学芸員 高橋佳苗	大阪市立大学サテライト	50
5/26	師・藤島武二と川端謹次	当館館長 岡 泰正	丹波市立植野記念美術館	40
6/14	小磯記念美術館の楽しみ方	当館学芸係長 廣田生馬	コープは〜とランドハイム 本山	25
10/13	小磯良平展の楽しみ方	当館学芸係長 廣田生馬	六甲勤道労市民センター	24
10/18	小磯記念美術館の楽しみ方	当館学芸係長 廣田生馬	共同の苑RICグランクオーレ	40
10/20	日本画の鑑賞	当館館長 岡 泰正	六甲道勤労市民センター	30
10/23	西洋絵画を楽しむ—ルーヴル美術館のフランス美術を中心に—	当館学芸員 高橋佳苗	シルバーカレッジ	約300
11/3	いかに合法的にヌードを描くか	当館館長 岡 泰正	佐世保市博物館 高瀬美術センター	約30
11/10	小磯良平の画業	当館学芸員 高橋佳苗	ピフレホール	10
11/23	小磯記念美術館の楽しみ方	当館学芸係長 廣田生馬	共同の苑	30
1/19	川端謹次の見方をかたる	当館館長 岡 泰正	丹波市立植野記念美術館	41(ギャラリー トーク51)
1/27	学芸員と神戸を巡るV 異人館の 画家・小松益喜の絵画紀行	当館学芸員 高橋佳苗	神戸市立博物館	16
2/2	小磯良平と戦争画について	当館学芸係長 廣田生馬	神戸華僑歴史博物館	10
3/2	美術史学会西支部大会「1920～30 年代の美術動向と日本」	当館館長 岡 泰正	逸翁美術館	146

## 7. スタンプラリーの開催

今年度もリピーターの確実な確保に向けて、当館オリジナルでスタンプラリーを継続的に実施することとし、台紙を印刷・作製し、来館者に配付した。平成22年度から始め、9年目となる。

平成30年度は屋上防水工事のため例年より少ない3会期がスタンプ押印の対象となった。このうち2回以上の展覧会にご来館・ご鑑賞いただいた方を対象に、平成31年度に開催するお好きな展覧会にご招待する企画とした。会期毎にスタンプのデザインとスタンプインクの色にも工夫を凝らして、スタンプの押印そのものも楽しんでいただけるように配慮した。

<p>神戸市立小磯記念美術館 展覧会スタンプラリー</p>  <p>小磯清正 (1904-2000)</p> <p>3つ以上のスタンプを集めると 2019年度の展覧会に1回ご招待。</p> <p>2018/4/21(土)~11/25(日)</p>	<p>4/21(土)~7/8(日)</p> <p>◆小磯良平作品展Ⅰ—油彩—</p> <p>◆特別展 神戸市立博物館所蔵 洋画セレクション</p>  <p>小磯良平 (1905-1988)</p> <p>stamp</p>	<p>神戸市立博物館のリニューアル休館にあたり、再度に収蔵されている金山平三、小磯良平、田村孝之介、川崎敏次郎の近代洋画に、明治半葉に活躍した高橋田一、山平秀源の油彩画、ワーグマン、バーナードら来日した西欧人の作家などを加えて紹介します。結かれた数々の懐かしい神戸風景や神戸ゆかりの芸術家の作品からかもし出されるモダンな空気をお楽しみください。</p>	<p>7/14(土)~9/2(日)</p> <p>◆小磯良平作品展Ⅱ—版画特集—</p> <p>◆特別展 浜口福三と常桂子展 —ふしぎな世界への小さな窓—</p>  <p>浜口福三 (1903-1983)</p> <p>stamp</p>	<p>展覧会の特別企画として、国際的にも高い評価を受けている彫版画家・浜口福三(1903-2000)と常桂子(1911-2004)の二人展を開催します。可愛らしくも知的、神秘あふれる版画世界を、代表作を通して紹介します。「窓」を主体とするカラーモノクロント、「襦」を主体とするエッチングという異なる技法によって豊かな世界をつくりあげる、版画師の深い魅力に迫ります。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 8. RIC（六甲アイランドシティ）内3美術館連携事業

神戸市東灘区にある六甲アイランドシティには、神戸ゆかりの美術館・神戸ファッション美術館・神戸市立小磯記念美術館の3つの美術館が存在している。これまで継続的に月例での事務連絡会議を実施してきている。当日入館券の提示による相互割引制度を設けている。

## 9. 子供のためのワークショップ

展覧会の開催にあわせて、作品や美術館に親しむ機会をより広く提供するために「美術館大作戦」を企画・開催した。夏休みには、親子で楽しめる自由参加型ワークショップ「にじ色カード屋さん」を行った。また、30年度文化庁『地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業』として“RICあそ美ば”を開催した。

	名 称	回	月 日	対 象	参加人数
1	美術館大作戦1 ミニフレームを作ろう	1	5月26日(土)	4歳～中学生	32
2	美術館大作戦2 豆本を作ろう	1	6月23日(土)	4歳～中学生	34
3	美術館大作戦3 ランプシェードを作ろう	1	7月28日(土)	4歳～中学生	26
4	夏休み特別企画 にじ色カード屋さん	22	7/26日～8/31の平日	幼児～	684
5	夏休み特別企画 こたりのブローチ	3	8月25日(土)	小学生～	51
6	美術館大作戦4 モデルさんを描こう	1	9月29日(土)	4歳～中学生	15
7	RICあそ美ば どんぐりマーケット	1	11月4日(日)	幼児～	3345
8	美術館大作戦5 クリスマスカードを作ろう	1	11月24日(土)	4歳～中学生	31
	回数	31		人数	4218

協力（年間を通して）：神戸大学大学院人間発達環境学研究所 勅使河原ゼミ、神戸シルバーカレッジ美工OB  
図工専科OB

### ■美術館大作戦1「ミニフレームを作ろう」 (特別展「神戸市立博物館所蔵 洋画セレクション」)

日 時：5月26日(土)、14:00～16:30  
 対 象：4歳～中学生  
 参加人数：32名  
 内 容：展示室で額縁を観察し、それを参考にしながら紙粘土でフレームを作った。展示室で描いたお気に入りの絵を入れて飾った。



### ■美術館大作戦2「豆本を作ろう」 (特別展「神戸市立博物館所蔵 洋画セレクション」)

日 時：6月23日(土)、14:00～16:30  
 対 象：4歳～中学生  
 参加人数：34名  
 内 容：洋画セレクションの作品を鑑賞し、描かれた形や色のお気に入りの見つけ、自分なりのテーマを決めて「豆本」を作った。



■美術館大作戦3「ランプシェードをつくろう」  
(夏休み特別企画「浜口陽三と南桂子展—ふしぎな世界への小さな窓—」)

日 時： 7月28日(土)、14:00~16:30  
対 象： 4歳~中学生  
参加人数： 26名  
内 容： 浜口陽三と南桂子の版画作品を鑑賞し、形や色・描き方を参考に  
して、トレーシングペーパーにカラーペンで絵を描いた。中にラ  
イトを入れて「ランプシェード」にしあげた。



■夏休み特別企画「虹色カードやさん」  
(夏休み特別企画「浜口陽三と南桂子展—ふしぎな世界への小さな窓—」)

日 時： 7月26日~8月31日の平日 14:00~16:00  
対 象： 幼児~(大人も)  
参加人数： のべ684名  
内 容： 夏休みの平日14時~16時に、ロビー(図書コーナー)にワーク  
ショップスペースを設け、誰でも楽しめる虹色カード作りワー  
クショップを行った。



■夏休み特別企画「こどりのブローチ」  
(夏休み特別企画「浜口陽三と南桂子展—ふしぎな世界への小さな窓—」)

日 時： 8月25日(土)  
①10:30~ ②13:30~ ③15:30~  
対 象： 小学生~(大人も)  
参加人数： 51名  
内 容： 南桂子の作品に登場する「こどり」を樹脂粘土で象った土台  
に特殊なペンで着彩を施し、ブローチを作った。



■美術館大作戦4「モデルさんを描こう」  
(特別展「没後30年小磯良平展—西洋への憧れと挑戦—」)

日 時： 9月29日(土) 14:00~16:30  
対 象： 4歳~中学生  
参加人数： 15名  
内 容： 小磯良平の人物デッサンを参考にして、画家と同じ道具(イー  
ゼル・コンテ)で「モデルさん」を描いた。





## ■RICあそ美ば 「どんぐりマーケット」



「RICあそ美ば」チラシ（表面）



（中面）



美術館前広場での「どんぐりマーケット」

- 日 時： 11月4日（日） 11：00～16：00  
 場 所： 小磯記念美術館展示室・ロビー・美術館前広場  
 参加人数： のべ3345名  
 内 容： 美術館、博物館、学校、図工専科OB、地域作家などが、  
 21種類のワークショップやパフォーマンスを展開。参加者は  
 どんぐりを通貨にして好きなワークショップに参加することが  
 できる。  
 主 催： 神戸の文化発信実行委員会  
 協 力： 向洋小学校／神戸大学／向洋児童館／東灘おもちゃ工作隊  
 ／六甲アイランドカップ実行委員会／六甲アイランド地域振  
 興会／六甲アイランドCITY自治会  
 助 成： 平成30年度文化庁「地域と共働した美術館・歴史博物館創造  
 活動支援事業」



学芸員による「カプセルミッション」

## ■美術館大作戦5 「クリスマスカードをつくろう」 （特別展「没後30年小磯良平展—西洋への憧れと挑戦—」）

- 日 時： 11月24日（土） 14：00～16：30  
 対 象： 4歳～中学生  
 参加人数： 31名  
 内 容： クリスマスのいわれを知り、パステルの技法（ぼかし・ステン  
 シル）を使って「クリスマスカード」を作った。

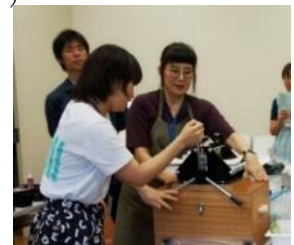


## 10. 大人のためのワークショップ

展覧会の開催にあわせて、作品や美術館に親しむ機会をより多くの方に提供するために、「大人対象のワークショップ」を企画・開催した。

### ■「ドライポイント銅版画」 （夏休み特別企画「浜口陽三と南桂子展—ふしぎな世界への小さな窓—」）

- 日 時： 8月3日（金） 13：00～16：00  
 対 象： 中学生以上  
 参加人数： 15名  
 講 師： 大山幸子氏（版画家・MIGAKU主宰・大阪藝術大学デザイン科講師）  
 内 容： 銅版画家をクローズアップした展覧会に合わせ、ドライポイント  
 の技法で小さな銅版画の作品を作った。



### ■「はじめまして！対話型鑑賞」 ミュージアムエデュケーション研究会2018 みんなの学美場

- 日 時： 11月17日（土）  
 対 象： 高校生以上  
 参加人数： 21人  
 講 師： 勅使河原君江氏（神戸大学大学院准教授）  
 内 容： 対話型美術鑑賞ファシリテーター（進行役）の研修会。  
 講師のレクチャーの後、黒板掲示用図版（小磯作品）を用い、  
 ファシリテーター役と児童役に分かれての実習を行った。



## 11. 学校との連携

活用区分		幼稚園 保育園	小学 校	中学 校	高等 学校	特別支 援学校	大学 その他	学校数	人数
美術館で	団体利用	4	21	1	2	1	1	30	2536 2626
	課外活動での利用	0	0	7	0	0	1	8	
学校で	出張授業	0	36	0	0	0	6	42	1252 1592
	鑑賞ガイド教材利用	0	5	0	0	0	0	5	
		4	62	8	2	1	8	85	4218

### ■団体鑑賞

A特別展「神戸市立博物館所蔵 洋画セレクション」(4/21~7/8)

	日付	学校名	対象学年	クラス数	人数
1	4月29日	北須磨高校	1.2.3	美術部	14
2	5月2日	神戸市立西脇小学校	5	2	54
3	5月30日	神戸市立向洋小学校	3	2	80
4	5月31日	神戸市立向洋小学校	3	2	79
5	6月6日	伊丹市立南中学校	1	6	231
6	6月8日	神戸市立高倉台小学校	5	3	91
7	6月10日	神戸学院大学			23
8	6月13日	神戸市立福住小学校	4	3	79
9	6月21日	神戸市立兵庫大開小学校	5	3	108
10	6月22日	神戸市立塩屋北小学校	5	2	64
11	6月26日	神戸市立明親小学校	5	3	99
12	6月28日	神戸市住吉中学校	特支	1	8
13	6月29日	神戸市立福池小学校	5	4	146
14	6月29日	六甲アイランド高校	2	1	38
計					1114

B夏休み特別企画「浜口陽三と南桂子展—ふしぎな世界への小さな窓—」(7/14~9/2)

	日付	学校名	対象学年	クラス数	人数
1	7月18日	神戸市立高羽小学校	5	3	102
2	7月19日	神戸市立高羽小学校	5	3	106
3	8月31日	岸和田市立産業高校	1.2.3	3	122
4	8月3日	姫路市立播磨西中学校	1.2.3	美術部	26
5	8月7日	淡路市立一宮中学校	1.2.3	美術部	18
6	8月10日	神戸市立伊川谷中学校	1.2.3	美術部	9
7	8月22日	神戸大学附属中学校	1.2.3	美術部	14
計					397

C特別展「没後30年小磯良平展—西洋への憧れと挑戦—」(9/15~11/25)

	日付	学校名	対象学年	クラス数	人数
1	9月28日	稲美町立天満小学校	4	4	132
2	10月5日	神戸市立御影小学校	4	3	100
3	10月10日	神戸市立本山南小学校	4	2	79
4	10月11日	神戸市立若宮小学校	3	2	53
5	10月16日	学校法人大谷学園鶴甲幼稚園	年長	3	85
6	10月17日	神戸市立魚崎幼稚園	年長	2	44
7	10月23日	認定こども園ゆめ	5歳	2	37
8	10月26日	神戸市立宮川小学校	4	2	55
9	10月30日	灘すずかけ幼稚園	年長	2	84
10	11月9日	神戸市立樫野台小学校	4	2	66
11	11月13日	神戸市立東垂水小学校	4	2	53
12	11月15日	神戸市立会下山小学校	4	4	116
13	11月16日	神戸市立港島学園	4	3	95
14	11月21日	神戸市立西郷小学校	3	4	116
計					1115

■ 子供のための鑑賞ガイド (特別展)

特別展の開催に合わせて、展示会場のセルフガイドを兼ねて、学校での展示会紹介や鑑賞学習に活用できるようなガイドを作成。

○夏休み特別企画  
「浜口陽三と南桂子展—ふしぎな世界への小さな窓—」

○特別展「没後30年小磯良平展—西洋への憧れと挑戦—」



「浜口陽三と南桂子展」鑑賞ガイド



「没後30年小磯良平展」鑑賞ガイド

■ 教員のための研修講座

- 出張研修
- 2月1日 (金) 神戸っこアートフェスティバル幼稚園研修 (兵庫県立美術館)
- 3月7日 (木) 授業作りセミナー (KEC)

## ■近隣ミュージアムとの連携事業

○ミュージアムエデュケーション研究会2018

・平成30年度文化庁『地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業』

・主催：神戸の文化発信実行委員会

・協力：神戸市立小磯記念美術館、神戸市立博物館、明石市立文化博物館、芦屋市立美術博物館、神戸アートビレッジセンター、神戸ファッション美術館、竹中大工道具館、兵庫県立美術館、BBプラザ美術館、横尾忠則現代美術館、西宮市立大谷記念美術館、白鹿記念酒造博物館

※協力各館は、館の特徴を活かして考案された多彩なテーマで、参加者と共に学びあった。



「みんなの学美場」  
案内チラシ

### 2018みんなの学美場

施設名	講座名	開催日時
横尾忠則現代美術館	様々な素材を使った制作体験—オリジナル提灯を作ろう	10/20(土)
神戸ファッション美術館	素材から学ぶファッション～コットン編～	10/21(日)
神戸市立博物館	本格的な版木を使った浮世絵摺り体験	10/27(土)
神戸市立小磯記念美術館	はじめまして！対話型鑑賞	11/17(土)
BBプラザ美術館	Seed Cardを作ろう！	12/2(日)
神戸アートビレッジセンター	日本画をモノマネする	12/15(土)
西宮市大谷記念美術館	香櫨園浜から岩絵具を作り美術に活かす～	1/6(日)
白鹿記念酒造博物館	江戸時代の本で見る酒蔵 —はじめてのくずし字—	1/14(月・祝)
芦屋市立美術博物館	あいするデザイン	1/19(土)
竹中大工道具館	合木道—木の気に触れるために—	2/2(土)
明石市立文化博物館	道具のかたちを見てみよう	2/9(土)
兵庫県立美術館	美術館の魅力再発見！～写真編～	2/16(土)

## ■トライやるウィーク <受け入れ生徒数 9名>

5月29日(火)～6月1日(金)	神戸市立本庄中学校	2名
11月6日(火)～11月9日(金)	神戸市立湊湘南中学校	1名
	神戸市立烏帽子中学校	1名
	神戸市立向洋中学校	1名
	神戸市立魚崎中学校	1名
	神戸市立住吉中学校	1名
	神戸市立葺合中学校	1名
	神戸市立渚中学校	1名

ポスター・チラシなどの広報印刷物の発送、文献資料室や倉庫の整理などの裏方の仕事、展覧会監視員、アトリエでの解説、受付やショップなど来館者との接する仕事、記録紙交換や収蔵庫・収蔵庫の清掃など学芸員の補助など、美術館内のさまざまな業務を体験。



文献整理



アトリエ解説

## 12. マンスリーコンサート

28年度より引き続き、学芸員と音楽プロデューサーによるトークショーとクラシック音楽の生演奏によるマンスリーコンサートを毎月第3日曜日に定期的で開催している。

- 平成30年4月15日（日）〔小磯作品〕帆船のある風景  
〔演奏〕鷺尾有香(Flute)、藤本さえ子(Piano)
- 5月20日（日）〔小磯作品〕婦人像エステラ、  
〔演奏〕福原亜季(Soprano)、山本千尋(Soprano)、藤本さえ子(Piano)
- 6月17日（日）〔小磯作品〕池長猛美術館来館者揮毫帖  
〔演奏〕岡本珠希(Clarinet)、新林れん(Piano)
- 7月15日（日）〔小磯作品〕鳥  
〔演奏〕鷺尾有香(Flute)、柏山恵菜(Soprano)、藤本さえ子(Piano)
- 8月19日（日）〔小磯作品〕卵のある静物  
〔演奏〕寺園優香(Saxophone)、藤本さえ子(Piano)
- 9月16日（日）〔小磯作品〕斉唱  
〔演奏〕十鳥可奈子(Soprano)、柏山恵菜(Soprano)、矢内絵利子(Soprano)、藤本さえ子(Piano)
- 10月21日（日）〔小磯作品〕練習場の踊り子達  
〔演奏〕武田千奈津(Violin)、山本奈央(Piano)
- 11月18日（日）〔小磯作品〕静物  
〔演奏〕岡本珠希(Clarinet)、十鳥可奈子(Soprano)、藤本さえ子(Piano)

### ■参加人数

月 日	4月16日	5月20日	6月17日	7月15日	8月19日	9月16日
観客数	108人	116人	127人	121人	163人	162人

月 日	10月21日	11月18日	-	-	-	-	合計
観客数	171人	176人	-	-	-	-	1144

※2018年度は30年11月26日から屋上防水対策工事により休館したため、マンスリーコンサートの開催は8回。

## 13. ハイビジョンギャラリー

110インチのハイビジョン（1.37×2.44m）で、当館が作成したオリジナル番組を上映している（11:30～15:30）。

全41席。現在は土曜日、日曜日、祝日のみに限定して上映している。

### 【上映オリジナルソフト】

「小磯記念美術館」「小磯良平 人と芸術」「小磯良平の版画」「小磯良平 若き日の出会い」  
「小磯良平 画業を語る」「所蔵作品に見る小磯良平 油彩Ⅰ」「所蔵作品に見る小磯良平 油彩Ⅱ」  
「小磯良平 人物画の世界」「小磯良平 風景画・静物画の世界」「六甲アイランド」

## 14. 図書コーナー、ミュージアムショップ

図書コーナーでは、来館者が自由に画集や美術雑誌を閲覧することができる。

また、ミュージアムショップでは、小磯良平作品を中心とした当館オリジナルのミュージアムグッズや当館開催の展覧会図録などを販売している。

## 15. ミュージアムカード（定期券）

何度でも美術館を訪れたいというリピーターの方のために、ミュージアムカードを発行している。

有効期間は1年間で、特別展・収蔵作品選を問わず、いつでも入館できる。

会員には展覧会案内、美術館だよりなどを送付している。

大人1,500円、高大生1,100円、小中生750円（価格は平成31年3月末現在）。

## 16. 事業一覧 平成30年度 (2018)

### 平成30年度 (2018年4月～2019年3月) 展覧会一覧

	展示室1	展示室2	展示室3
4月	29年度小磯良平作品選IV	コレクション企画展示「絵の中の音を聞く」～4/15(日)	
5月	小磯良平作品選Ⅰ -油彩-	企画展「神戸市立博物館 洋画セレクション」 4/21(土)～7/8(日) (68日間)	
6月			
7月	小磯良平作品選Ⅱ -油彩-	特別展「浜口陽三と南桂子展－ふしぎな世界への小さな窓－」 7/14(土)～9/2(日) (44日間)	
8月			
9月	特別展「没後30年 小磯良平展 西洋への憧れと挑戦」 9/15(土)～11/25(日) (62日間)		
10月			
11月			
12月			
1月	11/26(月)～(2019年5月17日予定) 整備工事のため休館		
2月			
3月			
4月			

### Ⅲ. アトリエ

小磯良平が昭和24年（1949）に武庫郡住吉村字松本（現・神戸市東灘区住吉山手4丁目）に建てた木造2階建てのアトリエを、当美術館の中庭に移築・復元している。アトリエの内部には、画家が使用したイーゼルやパレット、モチーフとなった楽器や人形、家具などを展示して、アトリエでの当時の小磯の作品制作の状況を想像できるような雰囲気を作り出している。また、アトリエに関する解説や写真パネルも展示している。

毎開館日の午前・午後の各1回、アトリエ内でインフォメーション・スタッフによる小磯良平の解説会を行っている。



中庭に移築・復元されたアトリエ



アトリエ内部



## IV. 収蔵資料

### 1. 収集年度別 所蔵作品累計

作者別	資料の技法・材質	年度																														合計
		元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
小磯良平	油 彩	91		3	7	13	4	2	5	3	5	2	3	2	1		3			1		3	6		1	1						159
	フレスコ										1																					1
	水彩・素描	347			2	53	2		61		3	5		1	1	1					1	1		1			1			17	498	
	版 画	204																														204
	挿絵原画	1,503		35				110													5				343						1,996	
	その他（彫刻・陶器など）							4	1											1		9					2		10		27	
	小 計	2,145		38	9	66	6	116	67	3	9	7	3	3	1	1	4	0	1	6	10	4	6	1	344	0	4	0	0	12	19	2,885
他 作 家	油 彩	2	1	36	27	10	25	9	9	6	3	8	2	4		18	2	37	2	16		1	3	6	3				1	12	243	
	水彩・素描	5			1	1					17	1			1	13	7	5		4	5		5			3				4	72	
	版 画	2										6			2						3										13	
	挿絵原画																														0	
	その他（彫刻・陶器など）			2			1		3		8			1		1		11		21							1				49	
	小 計	9	1	38	28	11	26	9	12	6	26	15	2	5	3	32	9	53	2	44	5	1	8	6	3	3	1	0	0	1	16	377
年度別 合計	2,154	1	76	37	77	32	125	79	9	37	22	5	8	4	33	13	53	3	50	15	5	14	7	347	3	5	0	0	13	35	3,262	

\*この所蔵作品点数は、収蔵の経緯が購入・寄贈・保管転換の作品を対象としている（寄託は含まれない）。

### 2. 平成30年度 収集作品数

作者別	資料の技法・材質	内 訳			合 計
		購 入	寄 贈	保管転換	
小磯良平	油 彩		2		2
	フレスコ				
	水彩・素描		17		17
	版 画				
	挿絵原画				
	その他（彫刻・陶器など）				
	小 計		0	19	0
他 作 家	油 彩		12		12
	水彩・素描		4		4
	版 画				
	挿絵原画				
	その他（彫刻・陶器など）				
	小 計		0	16	0
合 計		0	33	0	35

### 3. 平成30年度 新収蔵作品・資料

①小磯良平《翼（『新女苑』表紙画）》1940年、油彩・キャンバス、45.5×27.4cm













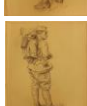





②小磯良平《故谷川大尉像》1944年 油彩・キャンバス 41.0×32.0cm



③小磯良平《母子像》1949年 パステル・紙 57.4×44.9cm



④小磯良平 兵士スケッチ

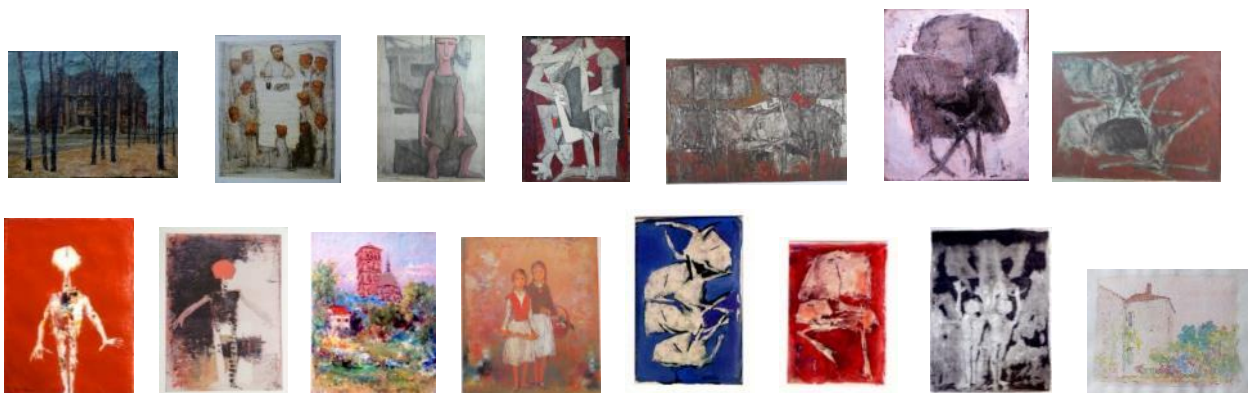
小磯良平		兵士A	1938-41年頃	鉛筆・紙	32.0 × 24.5
小磯良平		兵士B	1938-41年頃	鉛筆・紙	32.0 × 24.5
小磯良平		フトモモ	制作年不詳	鉛筆・紙	26.6 × 36.6
小磯良平		呉湘鎮廃趾(呉淞鎮)	1938-41年頃	鉛筆・紙	32.2 × 49.2
小磯良平		婦人像A	制作年不詳	鉛筆・紙	49.3 × 32.0
小磯良平		婦人像B	制作年不詳	鉛筆・紙	49.3 × 32.3
小磯良平		兵士C	1938-41年頃	水彩、コンテ・紙	64.0 × 48.9
小磯良平		兵士D	1938-41年頃	コンテ・紙	49.4 × 64.1
小磯良平		兵士E	1938-41年頃	コンテ・紙	63.9 × 49.0
小磯良平		兵士F	1938-41年頃	コンテ・紙	64.1 × 48.9
小磯良平		兵士G	1938-41年頃	コンテ・紙	64.1 × 49.1
小磯良平		兵士H	1938-41年頃	水彩、コンテ・紙	64.0 × 49.1
小磯良平		兵士I	1938-41年頃	コンテ・紙	64.1 × 49.3
小磯良平		兵士J	1938-41年頃	コンテ・紙	64.1 × 49.1
小磯良平		兵士K	1938-41年頃	水彩、グアッシュ、コンテ・紙	63.9 × 49.0
小磯良平		兵士L	1938-41年頃	コンテ・紙	64.2 × 49.2

⑤二世五姓田芳柳《小寺泰次郎像》明治後期、油彩・キャンバス、121.4×90.8cm



⑥網谷義郎 油彩11点 素描4点

7-1	網谷義郎	中之島公会堂	1950年	油彩・キャンバス	54.0×72.5
7-2	網谷義郎	最後の晩餐	1950年代後半	油彩・キャンバス	53.0×45.5
7-3	網谷義郎	座る	1955年	油彩・キャンバス	135.0×97.0
7-4	網谷義郎	あらそう	1957年	油彩・キャンバス	90.0×65.0
7-5	網谷義郎	四人	1959年	油彩・キャンバス	130.3×194.
7-6	網谷義郎	親と子	1961年	油彩・キャンバス	73.0×60.3
7-7	網谷義郎	飛ぶ	1961年	油彩・キャンバス	130.0×97.0
7-8	網谷義郎	人	1965年	油彩・キャンバス	33.8×24.6
7-9	網谷義郎	手を開く	1967年	油彩・キャンバス	130.3×97.0
7-10	網谷義郎	カテドラルが見える	1975年	油彩・キャンバス	41.0×32.3
7-11	網谷義郎	二人の女 バンと籠を持つ	1979年	油彩・キャンバス	53.0×45.5
7-12	網谷義郎	飛ぶ	1961年	水彩・紙	38.0×28.0
7-13	網谷義郎	作品	1961年頃	水彩・紙	36.0×25.3
7-14	網谷義郎	人物	1964年頃	墨・紙	38.0×54.0
7-15	網谷義郎	バラード邸の庭	制作年不詳	水彩鉛筆・紙	26.8×38.0



画像は左→右、上→下の順番でリストに対応

## 4. 館外貸出

蘭島閣美術館	「小磯良平、そして広島」	蘭島閣美術館 平成30年6月15日～8月6日	小磯良平	《風景》1923年 《自画像》1926年 《南仏ロード・カーニュ》1929年 《青衣の女》1929年 《花（アネモネ）》1932年 《着物の女》1936年 《踊り子》1940年頃 《少女像（人物B）》1941年 《K夫人像》1947年 《二人裸婦》1949年 《音楽》1954年 《母子像（家族）》1958年 《家族》1958年 《婦人立像》1959年 《群像》1959年 《働く人》1959年 《室内》1962年 《コートを着た人形》製昨年不詳 《花のあるベランダ》1972年 《腰かける二人》1985年 素描： 《手と足の習作》1954年 《母子像A》1954年 《りんどうとききょう》1960年 《洋梨》1960年 《鳥と葡萄》1960年 《ケイ・グリーン像》1972年 《リュートを持つ男》1974年頃 《風樹 第1回 社会の風（一）》1941年 《風樹 第32回 旅情》1941年 《白い鳶魚 第182回 萩の実（一）》1941年 《近代作家傳装幀原画》1951年 《志賀直哉作品集カバー装幀原画》1951年 合計32点
世田谷美術館	「向井潤吉 人物交流記」	世田谷美術館 平成30年9月8日～11月4日	小磯良平	油彩： 《石切場》1936年 以上1点
甲南学園	「甲南学園創立100周年記念 小磯良平作品展」	甲南学園 平成31年3月25日～4月8日	小磯良平	油彩： 《夕顔》1929年 《魚（さより）》1928-29年頃 《踊り子》1935年 《少女》1938年 《二人の少女》1946年 《人形》1970年 《リュートを弾く夫人》1975年頃 《御影の風景》1986年 素描： 《赤い服の少女》1946年 《テニスコート》1959年 《帆船のある風景》1960年 《御影風景》1962年 以上12点
市長室		貸出期間： 平成30年4月1日～3月31日	鴨居玲	油彩： 《ファド（嘆きのうた）》1972年 以上1点
生田文化会館		貸出期間： 平成30年4月1日～3月31日	鍵主恭夫	油彩： 《5番扉》1992年 以上1点
勤労会館		貸出期間： 平成30年4月1日～3月31日	金井二郎	油彩： 《働く人、人、人》1992年 以上1点
総楽園会館 （行財政局）		貸出期間： 平成30年4月1日～12月11日	池田清明 藤原護	油彩： 《敦子の夏》1992年 《otonomie A》1992年 以上2点
六甲道勤労市民センター		貸出期間： 平成30年4月1日～3月31日	北本光雄	油彩： 《路上（カズニ）》1992年 以上1点
青少年会館（こうべユース ネット）		貸出期間： 平成30年4月1日～3月31日	藤田亨	油彩： 《ひとりぼっち》1992年 以上1点
兵庫勤労市民センター		貸出期間： 平成30年4月1日～3月31日	岩見健司	油彩： 《積》1994年 以上1点
会計室		貸出期間： 平成30年4月1日～3月31日	大島泰子	油彩： 《パリの屋根の下（I）》1994年 以上1点
健康ライフプラザ		貸出期間： 平成30年4月1日～3月31日	尾島守 久川百合子	油彩： 《おかあさん、まだかな》1994年 《大きな木》1994年 以上2点

## 5. 特別利用

項目	年度	5年度		6年度		7年度		8年度		9年度		10年度		11年度		12年度		13年度		14年度		15年度	
		(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)
熟覧		1	1			2	3	1	3	1	2	1	1	1	1			1	1				
模写																							
模造								1	2	2	3	2	4	1	4	1	1						
写真撮影								1	1			1	1	1	1								
映画・テレビ撮影		3	20			22	59			1	9	2	16	2	19	1	1	3	11	3	18		
写真掲載		9	19	13	25	22	57	16	99	12	60	12	38	13	29	17	50	11	89	7	41	5	100
原版使用		6	12	12	26	1	4	17	104	15	65	14	27	15	31	16	49	12	91	6	36	5	100
紙焼付与		3	7																	1	5		
その他														1	2	2	2						
計		22	59	25	51	47	123	36	209	31	139	32	87	34	87	37	103	27	192	17	100	10	200

項目	年度	16年度		17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		22年度		23年度		24年度		25年度		26年度	
		(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)
熟覧		3	27	3	4	7	7			1	2	3	40	1	1	2	5			2	3	1	2
模写																							
模造				1	1	1	1	1	3	1	6				1	1							
写真撮影								1	1					1	14					4	8		
映画・テレビ撮影				38	41	21	21	3	22	2	5					2	4	2	31	2	2		
写真掲載		10	31	7	7	41	41	10	43	5	39	12	25	10	75	8	14	17	34	6	12	7	27
原版使用		7	17	63	72	42	42	10	40	5	628	11	28	9	60	10	16	17	34	2	4	4	13
紙焼付与		1	6	13	13																		
その他				1	1			1	1					2	8	1	2					2	3
計		21	81	125	138	112	112	26	108	14	677	27	99	23	158	24	42	36	99	16	29	14	45

項目	年度	27年度		28年度		29年度		30年度	
		(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)
熟覧				3	17	1	9		
模写									
模造									
写真撮影				2	2	1	9	1	1
映画・テレビ撮影		1	1						
写真掲載		5	5	12	23	3	4	11	15
原版使用		2	2	12	23	4	5	9	13
紙焼付与									
その他									
計		8	8	29	65	29	27	21	29

# V. 予算

(単位：千円)

年度 内訳	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
資料購入費	280,000	280,000	0	200,000	150,000	150,000	120,000	100,000	75,000	31,500	30,000	60,000
資料整理費	36,396	17,018	17,865	16,012	14,219	12,279	11,707	10,675	10,675	10,675	6,728	5,908
展覧会開催費	52,332	35,506	5,091	28,004	44,940	32,791	34,699	51,110	35,547	36,075	35,968	24,924
普及事業費等	29,423	30,989	26,782	25,883	23,057	22,123	20,967	16,262	12,394	12,396	5,156	2,523
管理運営費	123,905	130,848	128,733	123,537	124,045	126,694	117,515	114,305	112,056	109,947	98,875	91,157
アートファンド (美術品取得 基金造成)	80,020	51,800	34,900	0								
開館準備費												
合計	602,076	546,161	213,371	393,436	356,261	343,887	304,888	292,352	245,672	200,593	176,727	184,512

年度 内訳	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
資料購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資料整理費	5,493	5,191	4,920	4,470	3,823	3,129	3,129	3,082	2,537	2,823	2,863	2,211	2,220
展覧会開催 費	29,795	32,499	25,061	37,406	21,144	22,324	21,397	33,839	31,263	35,710	29,607	30,791	32,421
普及事業費 等	1,850	1,677	1,540	1,390	3,686	5,454	6,453	793	719	821	979	695	695
管理運営費	78,832	77,649	67,159	66,455	68,301	68,956	67,070	65,215	66,216	63,281	68,179	64,581	57,732
アートファンド (美術品取得 基金造成)													
開館準備費													
合計	115,970	117,016	98,680	109,721	96,954	99,863	98,049	102,929	100,735	102,635	101,628	98,278	93,068

災害復旧 工事費	8,571	57,563
-------------	-------	--------

年度 内訳	30年度	31年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度
資料購入費	0												
資料整理費	1,776												
展覧会開催 費	30,891												
普及事業費 等	866												
管理運営費	61,612												
アートファンド (美術品取得 基金造成)													
開館準備費													
合計	95,145												

## VI. 入館者数

### 1. 月別入館者数

年 度	月 別	開 館 日 数	入館者 総 数	有料・無料内訳		階 層 別 内 訳			一日平均 入館者数
				有 料	無 料	一 般	大学生	中学生 小学生	
	4 月	22	2,096	914	1,182	1,878	36	182	95
	5 月	26	2,729	1,363	1,366	2,465	27	237	105
	6 月	26	3,885	1,284	2,601	2,953	52	1,062	149
	7 月	22	2,416	965	1,451	2,028	28	360	110
	8 月	27	4,245	1,714	2,531	3,456	45	744	157
	9 月	15	2,985	1,547	1,438	2,740	22	223	199
	10 月	26	5,278	2,658	2,620	4,720	37	521	203
	11 月	22	7,507	3,366	4,141	6,754	129	624	341
	12 月								
	1 月								
	2 月								
	3 月								
	合 計	186	31,141	13,811	17,330	26,994	376	3,953	167

### 2. 展覧会別入館者数

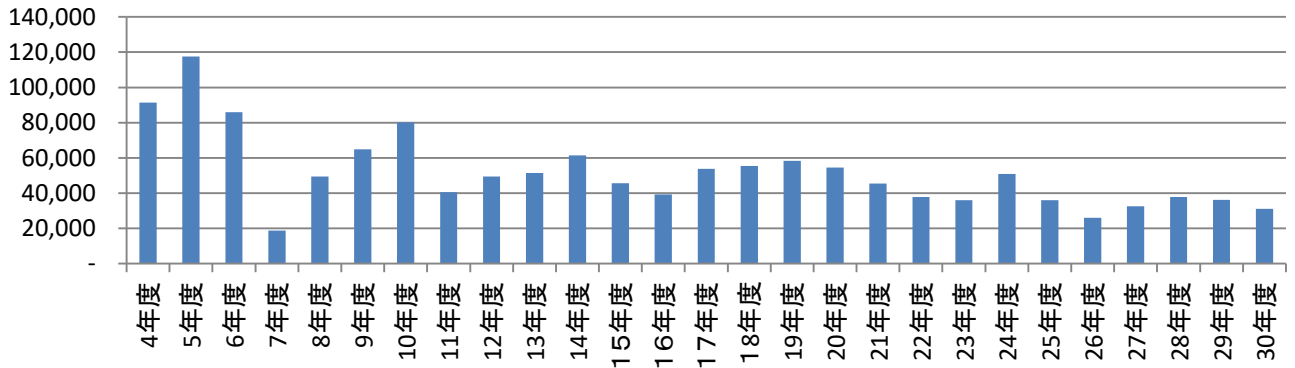
展覧会名		小磯良平作品選Ⅰ 特別展「神戸市立博物館所蔵 洋画セレクション」展		小磯良平作品選Ⅱ 特別展「浜口隲三と南桂子」展		特別展「没後30年 小磯良平」展 西洋への憧れと挑戦		30.11.26～31.5.17 整備工事のため休館		30年度展覧会		
会期 (日数)		(H・30・4・21～7・8) (68日間)		(H・30・7・14～9・2) (44日間)		(H・30・9・15～11・25) (50日間)				入館者合計 (162日間)		
区分		入館料	入館者数	入館料	入館者数	入館料	入館者数	入館料	入館者数	入館料	入館者数	入館者数
有 料	一 般	個 人	500円	1,471	800円	1,550	800円	1,485				4,506
		団 体	400円	70	600円	89	600円	222				381
		割 引	400円	1,116	600円	542	600円	4,311				5,969
		同(シルバー)	250円	577	400円	273	400円	1,056				1,906
		計		3,234		2,454		7,074				12,762
	大 学 生 (常設展は 大 高 生)	個 人	250円	116	400円	49	600円	78				243
		団 体	150円	0	200円	0	400円	0				0
		割 引	150円	0	200円	21	400円	106				127
		計		116		70		184				370
	高 校 生	個 人	0円		0円		600円					0
		団 体	0円		0円		400円					0
		割 引	0円		0円		400円					0
		計		0		0		0				0
	中 学 生 小 学 生	個 人	0円		0円		400円					0
		団 体	0円		0円		200円					0
		割 引	0円		0円		200円					0
計		0		0		0				0		
小 計		3,350	2,524		7,258						13,132	
ミュージアムカード		128	34		141						303	
有 料 合 計		3,478	2,558		7,399						13,435	
無 料		5,092	3,790		7,726						16,608	
総 合 計		8,570	6,348		15,125						30,043	
一日平均入館者数		126	144		303						185	

\*高校生以下は特別展も含め無料



### 3. 経年の入館者数

	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	合計
入館者	91,351	117,564	86,013	18,826	49,348	64,812	80,075	40,551	49,412	51,353	61,349	45,665	39,328	53,782	55,495	58,373	54,477	45,476	37,823	36,077	50,886	35,914	26,092	32,589	37,850人	36,219人	31,141人	1,387,841人
開館日	118	285	222	142	280	278	278	284	281	266	277	278	275	274	290	287	284	286	286	287	280	283	207	271	270日	270日	186日	7,025日
1日平均	774	413	387	133	176	233	288	143	176	193	221	164	143	196	191	203	192	159	132	126	182	127	126	120	140人	134人	167人	198人
換要	11月3日開館	阪神・淡路大震災により、7年1月17日～10月2日休館																								屋上防水工事のため11月26日～休館		



## VII. 関係法規

### 神戸市立小磯記念美術館条例（平成4年3月31日 条例第50号）

（設置）

第1条 美術に関する資料を収集し、保管し、及び展示して教育的配慮の下に市民の利用に供し、その教養、調査研究等に資するために必要な事業を行うことを目的として、神戸市立小磯記念美術館（以下「美術館」という。）を設置する。

（位置）

第2条 美術館は、神戸市東灘区向洋町中5丁目7番地に置く。

（事業）

第3条 美術館は、第1条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術品、美術に関する文献、複製等の資料（以下「美術館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 美術館資料に関する専門的かつ技術的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (4) 講演会、講習会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (5) 他の美術館、学校その他の関係機関と連絡し、及び協力すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事業

（入館料等）

第4条 美術館に入館しようとする者は、別表に定める額の入館料を納付しなければならない。ただし、特別に展示を行う場合の入館料は、2,000円の範囲内で教育委員会が定める。

- 2 教育委員会は、美術館の入館について、定期券その他の教育委員会規則で定める特別入館券を発行することができる。
- 3 前項の特別入館券の料金は、4,000円の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。

（入館料の納付）

第5条 入館料（前条第3項の料金を含む。次条、第7条及び第13条第1項第3号において同じ。）は、前納しなければならない。ただし、教育委員会規則で定める特別の理由があるときは、この限りでない。

（入館料の減免）

第6条 教育委員会は、教育委員会規則で定める特別の理由があるときは、入館料を減額し、又は免除することができる。

（入館料の返還）

第7条 既納の入館料は、返還しない。ただし、教育委員会規則で定める特別の理由があるときは、その全部又は一部を返還することができる。

（資料の特別利用）

第8条 美術館資料の熟覧、模写、撮影等をしようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより教育委員会の許可を受けなければならない。

（施設の特別利用）

第9条 教育委員会は、第1条の目的を達成するために必要があると認めるとき（教育委員会規則で定める特別の理由があるときに限る。）は、教育委員会規則で定めるところにより、美術館の一部の施設の使用を許可することができる。

- 2 前項の許可の対象となる施設については、教育委員会規則で定める。
- 3 第1項の許可に係る施設の使用料は、無料とする。
- 4 次に掲げる費用は、第1項の許可を受けた者の負担とする。
  - (1) 第1項の許可に基づく使用に伴う電気、ガス、水道及び下水道（次項において「電気等」という。）の使用料
  - (2) 教育委員会が前号に掲げる費用に準ずるものであると認める費用
- 5 前項各号に掲げる費用について、電気等の設備を共同して使用することその他の事情により各使用者が使用した電気等の量が把握できないため、第1項の許可を受けた者の負担すべき費用の額が分からないときは、同項の許可を受けた者は、教育委員会が定めた基準により算定した金額を、前項各号に掲げる費用として負担するものとする。

（入館の制限等）

第10条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけ、又は美術館の施設、設備、美術館資料等を汚損し、損傷し、若しくは滅失するおそれがあると認められる者
- (2) 美術館の管理上必要な指示に従わない者
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育委員会が支障があると認める者

（損害の賠償等）

第11条 入館者は、美術館の施設、設備、美術館資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、教育委員会の指示するところに従い、これを原状に復し、又その損害を賠償しなければならない。

(美術館協議会)

第12条 博物館法(昭和26年法律第285号)第20条第1項の規定に基づき、美術館に神戸市立小磯記念美術館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者その他教育委員会が適当であると認める者の中から教育委員会が委嘱する。

3 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

4 協議会の委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 前各項に規定するもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(指定管理者の指定等)

第13条 教育委員会は、次に掲げる美術館の管理に関する業務を美術館の管理について地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定による教育委員会の指定を受けたもの(以下「指定管理者」という。)に行わせることができる。

(1) 第3条に規定する事業に係る業務

(2) 美術館の利用及びその制限に関する業務

(3) 美術館の入館料の徴収、減額、免除及び返還に関する業務

(4) 美術館の維持管理に関する業務

(5) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が定める業務

2 教育委員会は、指定管理者の指定をし、又はその指定を取り消したときは、その旨を告示するものとする。

3 指定管理者に第1項の業務を行わせている場合における第6条、第8条、第9条及び第10条の規定の適用については、第6条中「教育委員会は」とあるのは「第13条第1項に規定する指定管理者は」と、第8条中「教育委員会の」とあるのは「第13条第1項に規定する指定管理者の」と、第9条第1項中「教育委員会は」とあるのは「第13条第1項に規定する指定管理者は」と、同条第4項第2号及び第5項並びに第10条中「教育委員会」とあるのは「第13条第1項に規定する指定管理者」とする。

(施行細目の委任)

第14条 美術館の休館日及び開館時間その他この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。

(平成4年7月21日教委規則第2号により平成4年11月3日から施行)

附 則(平成16年7月20日条例第13号)抄

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成24年3月30日条例第56号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成30年3月30日条例第48号)

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

附 則(平成31年3月29日条例第59号)

この条例は、平成31年4月1日から施行する。

別表(第4条関係)

区分	入館料(1人1日につき)	
	個人利用	団体利用 (30人以上)
大学生	100円	50円
一般	200円	160円

備考

1 この表において「大学生」とは、学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する高等専門学校若しくは大学に在学する学生(高等専門学校にあっては、4年生及び5年生に限る。)又はこれらに準ずる者をいう。

2 この表において「一般」とは、学校教育法第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校若しくは大学に在学する児童、生徒若しくは学生又はこれらに準ずる者及び同法第1条に規定する小学校に就学するまでの者以外の者をいう。

# 神戸市立小磯記念美術館条例施行規則 (平成4年7月21日 教委規則第1号)

(趣旨)

第1条 この規則は、神戸市立小磯記念美術館条例（平成4年3月条例第50号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 神戸市立小磯記念美術館（以下「館」という。）の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日。ただし、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）と重なる場合は、その日の翌日以降においてその日に最も近い休日でない日を休館日とする。

(2) 休日の翌日。ただし、休日の翌日が土曜日、日曜日又は休日と重なる場合は除く。

(3) 年末年始（12月29日から1月3日まで）

2 教育長は、特に必要と認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に休館日を変更し、又は設けることができる。

(開館時間等)

第3条 開館時間は、午前10時から午後5時までとする。ただし、入館は、午後4時30分までとする。

2 教育長は、特に必要と認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に開館時間及び入館時間を変更することができる。

(特別に展示を行う場合の入館料)

第4条 条例第4条第1項ただし書に規定する入館料は、その都度教育長が定める。

(特別入館券)

第5条 条例第4条第2項に規定する特別入館券は、次に掲げるものとする。

(1) 定期券

(2) 優待券

(3) 招待券

(4) 前売券

2 定期券は、次の表に掲げる定期入館料を納めた者に対して、発行するものとし、有効期限は、発行の日の属する月の翌月1日から1年を経過した日までとする。

区分	定期入館料
大学生	750円
一般	1,500円

備考

区分の適用については、定期券発行の日を基準とする。

3 教育長は、事業上特別の理由があると認める者に対して、無料で定期券を発行することができる。

4 定期券は、定期券に記名された者以外の者は、使用することができない。

5 前項に違反して使用された定期券は、館の係員がこれを直ちに回収し、無効とすることができる。

6 館の係員は、定期券を使って入館しようとする者が、定期券に記名された者であることを確認するため、証明書等の提示を求めることができる。

7 定期券は、再発行しない。ただし、教育長がやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

8 優待券及び招待券は、教育長が事業上特別の理由があると認める者に対して、発行するものとし、その料金は無料とする。

9 前売券は、教育長が事業上必要があると認める場合に発行するものとし、その料金は、その都度教育長が定める。

(入館料の徴収)

第6条 入館料は、様式第1号による個人入館券又は様式第2号による団体入館券の発行により徴収する。

2 定期入館料は、様式第3号による定期券申込書に基づいて交付する様式第4号による定期券の発行により徴収する。

3 教育長は、特に必要と認めるときは、前2項に規定する入館券及び定期券に代えて別の様式を定め、これにより入館料を徴収することができる。

4 条例第5条ただし書に規定する教育委員会規則で定める特別の理由があるときは、次に掲げるときとする。

(1) 国、地方公共団体その他公共団体又は公共的団体の職員が公の目的で入館するとき。

(2) 国、地方公共団体その他公共団体又は公共的団体がその事業として入館するとき。

(3) 教育長が特に必要があると認めるとき。

(入館料の減免)

第7条 条例第6条に規定する特別の理由があるときは、次の各号に掲げるときとし、当該各号に定めるところにより、入館料を減額し、又は免除する。ただし、特別に展示を行う場合の入館料を減免するときの減額額は、その都度教育長が定める。

- (1) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条に規定する身体障害者手帳、療育手帳、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳、難病の患者に対する医療等に関する法律（平成26年法律第50号）第7条に規定する医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証又は小児慢性特定疾患承認書の交付を受けている者が入館するとき。 免除
- (2) 身体障害者福祉法施行規則（昭和25年厚生省令第15号）第5条に規定する一級若しくは二級の身体障害者又は療育手帳若しくは精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行令（昭和25年政令第155号）第6条に規定する一級の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者の介護人が入館するとき。 免除
- (3) 学校教育法第1条に規定する学校の教職員が、教育上の目的のために園児、児童、生徒又は学生を引率して入館するとき。 免除
- (4) 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条に規定する児童福祉施設（助産施設及び乳児院を除く。）の職員及び職員を補助する者が教育上の目的のために児童を引率して入館するとき。 免除
- (5) 市内に居住する満65歳以上の者が入館するとき。 免除
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育長が特に必要と認めるとき。 教育長が必要と認める額の減免（入館料の減免申請等）

第8条 入館料の減免を受けようとする者は、あらかじめ様式第5号による入館申込書兼入館料減免申請書を教育長に提出しなければならない。

2 前項の規定により減免したときは、様式第6号による入館申込書兼入館料減免通知書を交付する。

3 前2項の規定は、前条第1号、第2号又は第5号に該当する者その他教育長が特に必要と認める者には適用しない。ただし、入館の際に、前条第1号に該当する者は同号に規定する手帳等を、前条第5号に該当する者は市内に居住する満65歳以上の者であることを証する書類を提示しなければならない。

(入館料の返還)

第9条 条例第7条に規定する特別の理由があるときは、次に掲げるときとする。

- (1) 天災地変その他入館しようとする者の責めに帰すことのできない理由により入館できないとき。
- (2) 管理運営上の都合により入館できないとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育長が必要と認めるとき。

2 入館料の返還額については、教育長が別に定める。

(資料の特別利用の許可申請等)

第10条 条例第8条の規定に基づき、美術館資料（以下「資料」という。）の特別利用をしようとする者は、あらかじめ様式第7号による資料の特別利用許可申請書を教育長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 教育長は、前項の規定により資料の特別利用を許可したときは、様式第8号による資料の特別利用許可書を交付する。

3 資料の特別利用は、館内の所定の場所において館の係員の指示に従って行われなければならない。

4 他の美術館、図書館、研究所その他教育長が適当と認めるものは、前項の規定にかかわらず、資料の館外貸出しを受けることができる。

5 前項の規定による館外貸出しを受けようとする者は、あらかじめ様式第9号による館外貸出許可申請書を教育長に提出し、その許可を受けなければならない。許可された事項を変更しようとするときも同様とする。

6 前項の規定により許可したときは、様式第10号による館外貸出許可書を交付する。

7 教育長は、第1項及び第5項に規定する許可に必要な条件を付すことができる。

(資料の特別利用の制限)

第11条 次の各号のいずれかに該当するときは、資料の特別利用を許可しない。

- (1) 資料の特別利用によって資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるとき。
- (2) 現に資料が展示されているとき。
- (3) 寄託された資料で寄託者の同意を得ていないとき。
- (4) 著作権者がある資料で、著作権者の同意を得ていないとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、教育長が資料の特別利用をすることを不適当と認めるとき。

2 資料の館外貸出しの期間は、3月以内とする。ただし、教育長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

3 教育長は、館の都合により必要があるときは、資料の貸出期間中であっても当該資料の返還を求めることができる。

4 教育長は、資料の特別利用の許可を受けた者が、許可条件に違反したとき又は違反するおそれがあると認められるときは、資料の特別利用許可を取り消し、利用の停止又は返還を命じることができる。

(施設の特別利用)

第12条 条例第9条第1項に規定する特別の理由があるときは、次に掲げるときとする。

- (1) 神戸市又は教育委員会が共催する事業に利用するとき。
- (2) 神戸市又は教育委員会を構成員とする実行委員会等が主催する事業に利用するとき。
- (3) その他教育長が特に認めるとき。

(対象施設)

第13条 条例第9条第2項の許可の対象となる施設は、次に掲げるものとする。

- (1) エントランス
- (2) 回廊
- (3) ロビー
- (4) 第1展示室
- (5) 第2展示室
- (6) 第3展示室
- (7) ハイビジョンギャラリー
- (8) 絵画学習室
- (9) 展示準備室
- (10) 写真撮影室
- (11) 研究室
- (12) 会議室

(施設の特別利用の許可申請等)

第14条 条例第9条の規定に基づき、施設の特別利用をしようとする者は、あらかじめ様式第11号による施設の特別利用許可申請書を教育長に提出し、その許可を受けなければならない。

- 2 前項の規定により許可したときは、様式第12号による施設の特別利用許可書を交付する。
- 3 教育長は、必要があると認めるときは、第3条に定める開館時間外であっても、施設の特別利用を許可することができる。
- 4 教育長は、第1項に規定する許可に必要な条件を付すことができる。

(施設の特別利用の制限)

第15条 次の各号のいずれかに該当するときは、施設の特別利用を許可しない。

- (1) 館の運営に支障を及ぼすおそれがあると認めるとき。
  - (2) 当該施設が利用(準備及び撤収作業を含む。)されているとき。
  - (3) 前号に掲げるもののほか、教育長が施設の特別利用をすることを不適当と認めるとき。
- 2 教育長は、館の都合により必要があると認めるときは、施設の特別利用を許可した場合であっても、当該施設の特別利用の停止を求めることができる。
- 3 教育長は、施設の特別利用の許可を受けた者が、許可条件に違反したとき又は違反するおそれがあると認められるときは、施設の特別利用の許可を取り消し、利用の停止又は退去を命じることができる。

(損害の賠償等)

第16条 資料の特別利用の許可又は施設の特別利用の許可を受けた者は、館の施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、速やかに教育長に届け出てその指示するところに従い、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(損傷の届出等)

第17条 入館者は、館の施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その旨を館の係員に届け出て、その指示に従わなければならない。

(入館者の遵守事項)

第18条 入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 展示資料に触れないこと。
- (2) 喫煙し、又は所定の場所以外において飲食し、若しくは火気を使用しないこと。
- (3) 他人に迷惑を及ぼし、又はそのおそれのある行為をしないこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、館の係員の指示に従うこと。

(販売行為等の禁止)

第19条 入館者は、館において、物品その他の物を販売し、又は金品の寄附募集等を行い、若しくは行わせてはならない。ただし、教育長の承認を受けた場合はこの限りでない。

(協議会の会長及び副会長)

第20条 条例第12条に規定する神戸市立小磯記念美術館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、協議会の委員（以下「委員」という。）の互選により定める。
- 3 会長及び副会長の任期は、委員としての在任期間とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 会長は、協議会の議事その他の会務を総理する。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。  
（協議会の会議）

第21条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じて小磯記念美術館長が招集する。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。  
（関係職員の出席等）

第22条 会長は、会議において関係職員の説明又は資料の提出を求めることができる。

- 2 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。  
（施行細目の委任）

第23条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、平成4年11月3日から施行する。

附 則（平成8年3月29日教委規則第15号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成10年3月31日規則第16号）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成10年4月1日から施行する。  
（経過措置）
- 2 この規則の施行の際、現に存する改正前の神戸市立学校の授業料等に関する条例施行規則、神戸市立幼稚園園則、神戸市立高等学校学則、神戸市立盲学校学則、神戸市立養護学校学則、神戸市立学校施設目的外使用規則、神戸市立博物館条例施行規則、神戸市立小磯記念美術館条例施行規則、神戸市立青少年科学館条例施行規則、神戸ポートアイランドホール条例施行規則、神戸市立自然の家条例施行規則及び神戸市伝統的建造物群保存地区に関する規則（以下「各規則」という。）の様式による免除許可申請書その他の書類（以下「書類等」という。）は、改正後の各規則の様式による書類等とみなして、当分の間、なお使用することができる。

附 則（平成19年3月23日教委規則第8号）抄

（施行期日）

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。  
附 則（平成20年3月31日教委規則第14号）  
この規則は、平成20年4月1日から施行する。  
附 則（平成28年3月31日教委規則第10号）  
この規則は、平成28年4月1日から施行する。  
附 則（平成30年3月30日教委規則第18号）  
この規則は、平成30年4月1日から施行する。  
附 則（平成30年12月28日教委規則第6号）  
この規則は、平成31年1月1日から施行する。  
附 則（平成31年3月29日教委規則第16号）  
この規則は、平成31年4月1日から施行する。

# Ⅷ. 日 誌

平成30年 (2018)	4月15日	(日)	マンズリーコンサート
	21日	(土)	特別展「神戸市立博物館所蔵 洋画セレクション」 「小磯良平作品選Ⅰ」開催(～7月8日)
	5月18日	(木)	国際博物館の日・記念品配布
	20日	(日)	マンズリーコンサート
	26日	(土)	美術館大作戦1「ミニフレームを作ろう」
	21日	(日)	マンズリーコンサート
	29日	(火)	市立本庄中学校 2名
	6月17日	(日)	マンズリーコンサート
	23日	(土)	美術館大作戦2「豆本を作ろう」
	7月14日	(土)	夏休み特別企画「浜口陽三と南桂子ーふしぎな世界への小さな窓ー」開催(～9月2日)
	15日	(日)	マンズリーコンサート
	26日	(木)	夏休み特別ワークショップ「削って描こう！ にじいろカード屋さん」(～8月31日)
	28日	(土)	美術館大作戦3「ランプシェードを作ろう」
	8月3日	(金)	大人のための美術講座「ドライポイント銅版画」(講師: 大山幸子氏 版画家・MIGAKU主宰・大阪芸術大学デザイン科講師)
	19日	(日)	マンズリーコンサート
	24日	(金)	第22回美術講座 第1回(講師: 高橋佳苗)
	25日	(土)	美術館大作戦4「ミニ美術館をつくろう」
	25日	(土)	マンズリーコンサート特別編(於: 相楽園ハッサム邸)
	9月15日	(土)	特別展「没後30年 小磯良平展 西洋への憧れと挑戦」開催(～11月25日)
	17日	(日)	マンズリーコンサート
	21日	(金)	第22回美術講座 第2回(講師: 廣田生馬)
	25日	(日)	夏休み特別企画「ことりのブローチ」
	29日	(土)	美術館大作戦5「モデルさんを描こう」
	10月3日	(水)	KOBE観光の日・記念品配布
	6日	(土)	市立博物館「浮世絵」ワークショップ(於: 小磯記念美術館絵画学習室)
	19日	(金)	第22回美術講座 第3回(講師: 多田羅珠希)
	20日	(土)	小磯カフェ
	21日	(日)	マンズリーコンサート(東灘アートマンス・オープニングを兼ねる)
	27日	(土)	市立博物館「浮世絵」ワークショップ(於: 小磯記念美術館絵画学習室)
	28日	(日)	関連講座「小磯良平 没後30年 一新資料を迎え入れて」(講師: 廣田生馬)
	11月4日	(日)	RICあそ美ば開催
	6日	(火)	トライやるウィーク受入れ(渚、葺合、魚崎、住吉、向洋、烏帽子、湊翔楠中学校 ～9日)
	11日	(日)	記念講演会「小磯良平の言葉を思い出す」(講師: 岡泰正)(於: ファッション美術館セミナー室)
	18日	(土)	関西文化の日・記念品配布(19日も)
	18日	(日)	マンズリーコンサート
	20日	(金)	第22回美術講座 第4回(講師: 岡泰正)
	26日	(月)	屋上防水工事(～2019年5月18日)
	3月9日	(土)	マンズリーコンサート特別編(於: 神戸文化ホール)
	20日	(火)	第23回小磯記念美術館協議会開催
	25日	(月)	館外展 小磯良平作品展(於: 甲南大学)開催(～4月8日)



# Ⅷ. 建設設備概要

室別面積表(単位:㎡)

<b>■展示部門</b>		
・展示室1		319.4
・展示室2		283.8
・展示室3		324.0
・展示準備室		96.7
・アトリエ		94.0
<b>■教育普及部門</b>		
・ハイビジョンギャラリー		78.3
・絵画学習室		90.1
<b>■保管部門</b>		
・収蔵庫		216.7
・収蔵庫前室		56.9
・荷解場		36.6
・搬入庫		43.4
・仮置場		90.8
・倉庫1		52.4
・倉庫2		47.0
・倉庫3		11.6
・倉庫4		7.8
・文献資料室		96.8
<b>■研究部門</b>		
・研究室		44.1
・写真撮影室		45.8
・暗室		3.9
・会議室		50.3
<b>■管理・一般部門</b>		
・事務室		55.8
・館長室		40.6
・副館長室		21.0
・守衛室		21.2
・喫茶室		81.5
・風除室		24.5
・ロビー		121.2
・回廊・エントランス		467.7
・搬入ヤード		450.2
・設備・機械室		305.0
・その他		291.7
<b>■合計</b>		<b>3,970.8</b>

部門別面積表(単位:㎡)

<b>■展示部門</b>		<b>1,117.9</b>
	1F	1095.4
	2F	22.5
<b>■教育普及部門</b>		<b>168.4</b>
	1F	78.3
	2F	90.1
<b>■保管部門</b>		<b>660.0</b>
	1F	613.0
	2F	47.0
<b>■研究部門</b>		<b>144.1</b>
	1F	144.1
<b>■管理・一般部門</b>		<b>1,880.4</b>
	1F	1517.2
	2F	363.2
<b>■合計</b>		<b>3,970.8</b>
	内訳) 1F	3,448.0
	2F	522.8

## ■建設概要

●所在地 神戸市東灘区向洋町中5丁目7(六甲アイランド公園内)

●敷地面積 33,041.01㎡

●建築面積 1,516.12㎡

●内部仕上げ

<玄関ホール、回廊>

床:花崗岩ジェットバーナー仕上、一部本磨き

壁:釉薬タイル(4丁掛)、花崗岩ジェットバーナー仕上

天井:天然木化粧シート張(ナラ)

回廊周リガラス:紫外線防止フィルム入り合わせガラス(8・8)

<展示室1・2・3>

床:カーペット敷、t=7mm、ポーダー花崗岩本磨き

壁:クロス張

天井:クロス張

<ハイビジョンギャラリー>

床:タイルカーペット、t=7mm

壁:天然木化粧シート張(ナラ)

天井:ロックウール化粧吸音板、EP塗装

<収蔵庫>

床:フナフローリングt=18mm、合板t=12mm、亜鉛鉄板t=0.3下地

壁:特殊木質系調湿繊維板、t=25mm

天井:天然木化粧板、単板張(セン)

<ロビー>

床:タイルカーペット、t=7mm

壁・天井:天然木化粧シート張(ナラ)

<喫茶室>

床:ナラフローリング、花崗岩ジェットバーナー仕上

壁:プラスター塗

天井:天然木化粧シート張(ナラ)

<構造>

主体構造:鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート、

展示室屋根 BOX型PC桁敷設

基礎:SC、PHC杭基礎

●外部仕上げ

屋根:平瓦葺(いぶし銀)

軒先:ステンレス素樹脂塗料焼付塗装 t=0.4 一文字葺

外壁:釉薬タイル(4丁掛)、ふくりん目地

花崗岩ジェットバーナー仕上

建具:ステンレス製フッ素樹脂塗料焼付塗装

●延床面積 3,970.81㎡

●構造規模 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造

地上2階

●工期 平成2年11月～平成4年3月

●建築設計・監理 神戸市住宅局営繕部

株式会社徳岡昌克建築設計事務所

●施工

建築工事:竹中・銭高・三井建設共同企業体

電気設備工事:ミナト・大藤・大宮・日の丸建設共同企業体

給水・衛生・空調・ガス設備工事:第一工業株式会社

昇降機:日本エレベーター製造株式会社

●設備概要

●電気設備 高圧受電:契約電力220kW(デマンド契約)

予備電源:発電機 90KVA

電灯:非常用照明

防災:自火報、非常放送、誘導灯、自動閉鎖(防火戸)

弱電:時計、インターホン、テレビ共同受信、ガス漏れ

警報防犯(熱線センサー)、ITV、非常呼出

●給排水設備 給水:量水器口径75mmにて引込直圧式

排水:汚水、雑排水とも直接下水本管に放流

●防災設備 屋内消火栓、ハロンガス消化設備(展示室、収蔵庫)

●ガス設備 都市ガス

●空調設備 方式:収蔵庫、展示室、ホール、回廊ノ単一ダクト方式

管理諸室ノファンコイルユニット、パッケージエアコン

冷暖房方式:熱源ノガス吸収式冷温水発生器、

100RT、空冷ヒートポンプ式チリングユニット

空気調和器:エアハンドリングユニット 6台

ファンコイルユニット 18台

カセットパッケージ 15台

(各種フィルター)

●昇降機設備 乗用11人(速度45m/min)油圧式(身体障害者対応)

# X. 神戸市立小磯記念美術館協議会・組織

## 美術館協議会

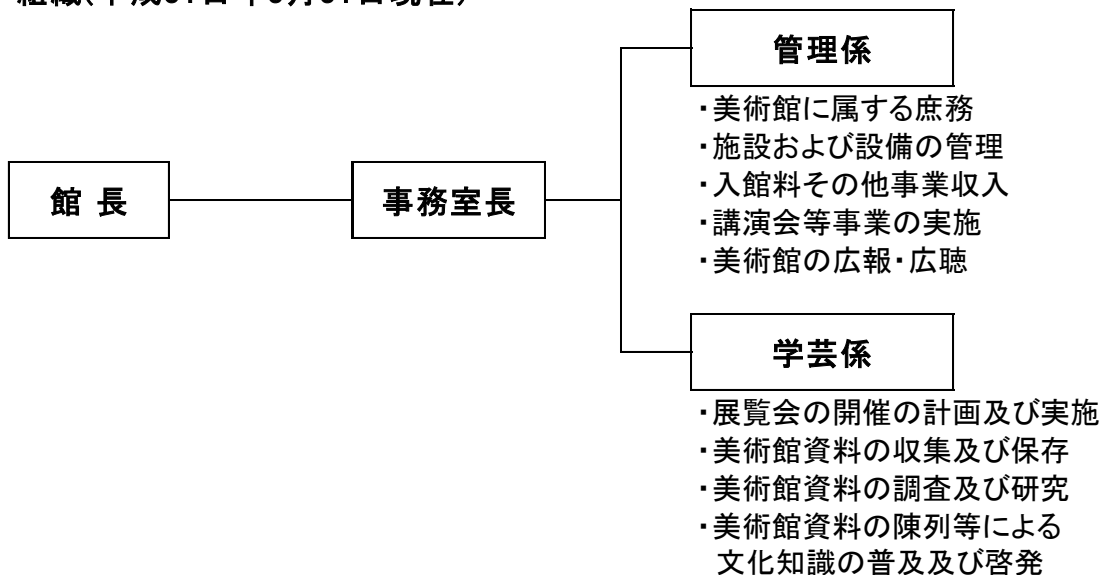
会長	熊田司	元和歌山県立近代美術館館長
委員	岡田修平 玉森たりほ 加藤巡一 増野俊則 山脇佐江子 山田莉緒	神戸市立小学校教科研究部図工部長 神戸市婦人団体協議会理事 神戸市青少年育成協議会委員 神戸新聞社論説委員 独立行政法人国立美術館幹事 甲南大学文学部日本語日本文化科

### ●第24回美術館協議会

#### 議題

- 平成31年3月15日(金) 開催  
(於 神戸市立小磯記念美術館 会議室)
- (1) 小磯記念美術館の運営状況について
  - (2) 神戸ゆかりの美術館の運営状況について
  - (3) その他

### 組織(平成31年3月31日現在)



### 職員(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

館長	岡泰正	●管理係		●学芸係	
事務室長	荒木武文	管理係長	中村晋輔 山下悟 小倉伸一郎	学芸係長 指導主事 学芸員 学芸員	廣田生馬 水田美保 高橋佳苗 多田羅珠希

**神戸市立小磯記念美術館 年報 No. 25**  
＜平成30年度＞

発行年月日 令和2年3月31日

編集・発行 神戸市立小磯記念美術館  
〒658-0032  
神戸市東灘区向洋町中5丁目7  
Tel 078-857-5880  
Fax 078-857-3737